



Merry Christmas

Las Vegas Japanese Community Church

『わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる』(イザヤ43:19)

# Desert Wind

Vol. 37, December 2009

## ● 受けるより与える方が幸い ●

生きている限り、どこに住もうが、人間関係の問題は絶えません。しかし、この問題に悩まされない秘訣があります。それは、やまびこの原理を用いることです。つまり、山に向かって「ヤッホー」と叫べば「ヤッホー」と返って来るように、相手から得たいものをまず相手に与えること、また、相手から得たくないものは相手に与えないことです。人に優しくすれば、必ず人の優しさを受け取ります。人に温かい心で接すれば、必ず人は温かい心で接してきます。反対に、人に文句を言えば、人から文句を言われます。人に批判的な態度で臨めば、必ず人は批判的な態度で返してきます。自分が投げたボールを相手は打ち返して来るのです。

人生を最高の形で生きよとするとときに、それを妨げる最大の要因は利己的であることです。利己的であるということは、言葉を変えれば、相手に与えることより自分が受けることを第一に考えている心の状態のことです。ですから、利己的な人は、他人の気持ちよりも自分の気持ち、他人の都合よりも自分の都合、他人の満足よりも自分の満足を第一に考えます。皮肉なことに、こうした利己的な姿勢で自分を第一に考えていると、自分の為にならない結果を招くのです。

そこで、もし私たちが喜びと感謝に満たされた豊かな人生を手に入れたいと望むなら、利己的な生き方を改めて、自分以外の人々に心を向けてみるのです。言い方を換えれば、受ける側ではなく与える側になるということです。

### ① 人は与えるために生まれた

使徒行伝 20:35 の「受けるより与えるほうが幸いである」という主イエスの言葉に心を向けると、人は与えるために生まれた、というメッセージが伝わってきます。私たちは自分のことばかり考えていると気持ちが乱れてきますが、人のことを考えてあげるという気持ちになるのです。人間の心というものは本

当に不思議なものです。たとえば悩み事を抱えている人は、他人の悩み事の解決に協力することによって悩みがどこかに行ってしまうことがよくあります。聖書は、この逆説の中にこそ真理があることを教えています。つまり、受けようとする者は失い、与える者は得るといふ不変の法則です。

人は何かを与えるために生まれてきたというのが聖書の教えです。それに気付かない限り、喜びに満ちた人生を送ることはできません。不思議な事に、困っている人に手を差し伸べれば、あなたにも必ず救いの手が差し伸べられます。なぜなら、種をまけば、必ず収穫がもたらされるからです。

### ② あなたを必要とする人がいる

主イエスが、「受けるより与えるほうが幸いである」と言われる時、その言葉から伝わってくるメッセージは、あなたが与えるものを受け取る必要のある人がいる、つまり、あなたを必要とする人がいるということです。そして、あなたがその人のために与えることをするならば、神様があなたの人生を意義深く美しいものにして下さるのです。

### ③ 愛は求めるものではなく与えるもの

聖書が教える愛は、誰かに求めるものではなく、誰かに与えるものです。つまり人に要求するものではなく、自分が与えるものです。人に要求する愛は、奪う愛で、与える愛ではありません。奪う愛を本当の愛だと思っている人は、よく「あの人には愛がない」という言葉を口にします。それに対して、与える愛が本当の愛であることをよく解かっている人は、「私には愛が足りない」という言葉を口にします。人に求める愛、人から奪う愛は自己中心から来る愛なので、相手を幸せにしないばかりか、自分も幸せにしません。私たちは、自分のことしか考えていないと、喜びや恵みを他人から奪うだけでなく、自分からも奪うことになるのです。

LVIJCC 牧師：鶴田健次

## DREAMS COME TRUE

- ✦教会堂の建設
- ✦敬老ホームの設立
- ✦幼稚園の設立

### お祈りのリクエスト

- 日本の家族の救いのために
- 各スモールグループのオイコス伝導のために
- 入門者クラスのために(とよ子姉、田中兄、愛子姉、Mark 兄)
- 英語部の働きのために
- 小さな子供を持つお母さん方のクラスのために
- 日本にいる堀田兄弟の献身者の学びのために
- 癒しの祈り: 和美姉、真奈美姉、みえこ姉、神崎先生の目、倉田一徳さんの脳腫瘍、新井雅之兄の癌、夕紀子姉、美津子姉、かよこ姉、Mary 姉、以津子姉、エナちゃん、Kahoku さん、草子さん

Desert Wind では、ご意見・質問等何でも受け付けております。  
lvjccnews@hotmail.com  
発行人：鶴田健次  
編集人：松岡みどり



## 編集室 便り

2009年も最後の月になってしまいました。今年も様々な行事が教会で行われました。恒例のピクニックやボーリングやお好み焼会を初め、教会初のスキット(中劇)の上演、ホセ・田中氏フランクギター・コンサート、Duo Takase サート、Holiness Youth Choir の歌とスキットなど。特別メッセージのゲストとして、JIBC の加山先生、ヤブ宣教師、安藤先生、サンディー先生をお招きしました。母の日には男性陣がおいしいBBQランチをご馳走して下さいました。また教会のホームページ開設も今年でした。このように今年の1年も主からの恵みは数え切れないほどの山盛りでした。「主にあって喜びなさい」とあるように、2010年も喜び踊り賛美する1年になりますように。今年1年、デザートウィンドをご愛読いただきまして感謝致します。

証し: Trimboli 貴保子

## — 主のご計画 —

ハレルヤ、主の御名を心から賛美します。私がラスベガス日本人教会を知って4年になります。あれは2005年の夏のことでした。偶然手に入れたみどり姉妹のラスベガスアイズにあった「すべて重荷を負っている者は私のもとに来なさい」(マタイ 11:28)の御言葉に強く心を打たれました。

当時たった一人で生きていくための重大な問題をかかえていた私は、誰かに導かれるように9月のある日曜日、礼拝直前の鶴田牧師に電話をしました。先生はさつそ次の日曜日に、わざわざまわり道をして私を迎えに来て下さいました。それから教会に通うようになり、私はすぐ初心者クラスを受ける決心をし、今まで漠然としてしか理解していなかった神様についての真理を学び、素直にイエス様を受け入れることができました。

私たちの罪のために父なる神様は尊いひとり子イエス様を十字架にかけられた事、又私たちひとりひとりのためにすばらしいご計画をお持ちでおられる事を鶴田先生はわかりやすく毎週教えて下さいました。そして、3ヵ月後のクリスマス礼拝で私は洗礼を受けました。

人生の選択を誤り、勝手に日本を離れ、1994年からNew Jerseyを基点とし、5年前にこの世を去った前の夫とアメリカ各州を転々とし、常に生活の苦労や、不安と戦ってきました。私は、これは自分のまいた種の結果だと思い、この苦しい生活を甘んじて受けていました。まるで聖書にある「放蕩息子」のような私でした。

1998年、フロリダからあても無くミシシッピとアラバマの州境に着き、知りあったクリスチャンの老夫婦に連れられ、夫と共にアラバマの片田舎の教会に7ヶ月間毎日通いました。いつも悲しい顔をしている私を見て、牧師は「God loves you」と言葉をかけてくれましたが、その言葉さえ私には無意味でした。

そしてミシシッピを離れ、今度はフロリダのペンサコーラに住み、毎日クリスチャンの放送を見聞きし、

イエス様から離れたくないという気持ちが強くなりました。祈りのしかたも知らないまま、毎日毎晩の中でイエス様に「どうか私を助けて下さい!!」と叫び続けていました。又ペンサコーラを離れ、コロラドを経て私たちは目的もないままラスベガスに着いたのです。

神様はここで私へのご計画を実現へと進められたのだと思います。そして神様は夫を召し、私は永住権のないまま、たった一人、残されました。でも神様は目に見えないところで着々と私を導いて下さっていたのです。私に3人の助け人を与えて下さり、私をラスベガス日本人教会に導いて下さり、この3人の人たちは永住権のない私のためにlawyerを与えてくれ、その費用も全て支払ってくれたのです。

同時進行で教会では毎週の祈禱会で私に「必要なもの」が与えられるようにと先生をはじめ兄弟姉妹が祈り続けて下さっていました。様々な曲折があり、1年3ヶ月と長い時間はかかりましたが、祈りは聞き入れられ、私は念願の永住権を手に入れることができました。ずっと私は聖書にある第一ヨハネ 5:14.15 の御言葉を信じ続けていました。そして、すぐ今の仕事を得、今の夫と職場で知り合い私たちは2007年2月にラスベガス日本人教会で結婚式を挙げました。牧師先生ご夫妻をはじめ、兄弟姉妹の方々が大きく助けて下さり、今でも心から感謝をしています。

教会が移転し、家からずっと遠くなり、日曜日に仕事のある私は教会を変わる事を考えていました。でも神様はノーマン長老ご夫妻を用いて下さり、私が教会を変えることを押し留めて下さいました。いつも日曜の朝、遠くから迎えに来て下さり、帰りも必ず仕事に間に合うように送って下さるノーマン長老ご夫妻に心から感謝しています。

神様は私に数々の御業を示して下さいました。また試練も与えて下さいました。常に私と共にいて下さる神様、私を愛してくださる神様によって、私は人生のやり直しをすることができました。私の人生のすべては偉大な神様の御手の中にあります。イエス様、本当にありがとうございます。